

## 米国バイオ産業展示会「BIO2003 ANNUAL CONVENTION」

全米バイオ産業協会 (BIO) が主催する世界最大のバイオ産業展示会「BIO2003 ANNUAL CONVENTION」が2003年6月22～25日、米国ワシントンDCの新設されたワシントン・コンベンションセンターで開催されました。出展約1,000社、入場者16,000人、昼のセミナーの時間にはブッシュ大統領のスピーチもある盛大な催しでした。

産総研は、ジェトロ (日本貿易振興会) の日本パビリオンの中にバイオベンチャー企業6社とともに参加しました。産総研ブースでは、バイオ分野での研究概要とベンチャー企業を紹介したビデオの上映と技術移転をめざす研究成果の紹介などを行いました。また、産総研ブースおよび日本パビリオンでは多くの来訪者に産総研の研究概要を伝えることができ、注目された技術について今後のコンタクトの約束を得ることもできました。



## 第1回 AIST・「産学官」交流フォーラム ～医療福祉産業に向けて～

2003年6月26日、産総研産学官連携部門は第1回 AIST・「産学官」交流フォーラムを臨海副都心センターにおいて開催しました。このフォーラムは産総研の研究成果を産業界に広く紹介・移転し、人的ネットワークを構築することを目的として、産総研の研究分野毎に今年度は合計9回開催されます。第1回は人間工学・福祉工学・医工学の分野紹介で、企業を中心に約100名の参加者がありました。

中村吉宏産学官連携コーディネータの開会挨拶の後、山根隆志人間福祉医工学研究部門副部門長から分野の動向と AIST の戦略について説明がありました。続いて、産総研職員による5件の研究発表、その発表を含めて11件のパネル展示があり、参加企業との熱心な意見交換がなされました。最後に東京大学大学院情報理工学系研究科の土肥健純教授による21世紀の医療福祉工学の役割について特別講演が行われました。

### 問い合わせ先

AIST・「産学官」交流フォーラム事務局  
TEL 06-6763-3242 FAX 06-6763-3221  
E-mail aist-forum@gbcj.com  
URL <http://www.gbcj.com/aist-forum/>

## 石原舜三特別顧問 ロシア科学アカデミー会員に選出

2003年5月22日、ロシア科学アカデミーの総会において、産総研石原舜三特別顧問が、永年にわたる鉱床学・花崗岩岩石学の分野における国際的功績により、同アカデミーの会員に選出されました。現在、ロシア科学アカデミーの在外会員は244名を数え、このうち我が国からは今回選ばれた野依良治、小柴昌俊、石原舜三各氏を含め、13名が選出されています。



石原顧問の業績の中でも花崗岩系列の提唱は、世界の花崗岩研究に大きな影響を与えた研究として、日本から世界に向けて発信された画期的な成果のひとつに数えられます。石原顧問による磁鉄鉱系列とチタン鉄鉱系列という花崗岩類の分類法は、基本的には花崗岩質マグマの酸化・還元状態を反映し、それは含有する磁鉄鉱量の違いに表れるため、岩石の帯磁率測定によって野外でも簡単に判別できるという利点があり、分類の成因的・記載的明確さは、日本列島のみならず、環太平洋造山帯の花崗岩類の研究にも広く影響を与え、ご本人も南米チリや中国、マレーシアなどの地質学者と共同して花崗岩系列の提唱を検証する研究を続けて来ました。

石原顧問は、2001年4月より産総研特別顧問に就任された後も多数の論文を発表し続け、後進への指導を続けています。

## AIST BOOKS 第5巻 「エネルギーエレクトロニクス」刊行

産総研で行われている研究の意義や将来性、そして課題や産業界との連携について紹介している「産総研シリーズ」その第5巻が刊行されました。今回は、産総研のエネルギー系研究ユニットのうち、クリーンな分散電源の開発とそれを使いこなすための新しい電力ネットワークの構築をキーワードに密接に連携している電力エネルギー研究部門、パワーエレクトロニクス研究センター、薄膜シリコン系太陽電池開発研究ラボを紹介しています。



### ■産総研シリーズ 第5巻 エネルギーエレクトロニクス — 新しい電力供給システムを創る —

独立行政法人産業技術総合研究所  
電力エネルギー研究部門/パワーエレクトロニクス研究センター/  
薄膜シリコン系太陽電池開発研究ラボ 編  
丸善(株)発行、322頁、ISBN 4-621-07286-2  
本体価格 1,500円+税  
全国有名書店でお買い求めください。